

## 『国宝』が3部門で受賞 「映画のまち調布賞」授賞式

映画現場を支える技術スタッフを顕彰する「第8回映画のまち調布賞」の表彰式が2月21日、文化会館「たづくり」くすのきホールで開催された。市内外の映画ファンから寄せられた11,777票をもとに候補作を絞り込んだうえで、7部門について優れた功績を残した人々や作品が選ばれた。

興行収入が邦画実写で史上初の200億円を突破した話題作『国宝』は照明賞・録音賞・編集賞の3部門で選ばれた。優れた技術による高い完成度の作品との定評を裏付ける選考となった。

また、特別賞には汀川悒子氏（メイクアップディメンションズ社長）が



授賞式を終え、会場に手を振る受賞者ら

選出された。日本でなじみの薄かった特殊メイクの草分けとして、1979年から米ハリウッドで最先端の技術を習得し、帰国後の1986年に日活調布撮影所に工房を設けた。

『国宝』の映像美が評価された照明技師の中村裕樹氏は「長年調布に住んでいます」と自己紹介の後、「映画館の大きなスクリーンで見てもらえる作品です」と語りかけ、会場を埋めた500人近くの聴衆から大きな拍手を浴びた。このほか、作品賞の『はたらく細胞』では、登壇した武内英樹監督が角川大映スタジオで撮影した山場のシーンのエピソードを披露するなど、映画のまちならではのスピーチが続いた。

特別賞以外の受賞者・作品は以下の通り（敬称略）

作品賞：『はたらく細胞』 撮影賞：川上智之『正体』 照明賞：中村裕樹『国宝』 録音賞：白取 貢『国宝』  
美術賞：三浦真澄、濱田千裕『はたらく細胞』 編集賞：今井 剛『国宝』

危険箇所は「<sup>ようへき</sup>擁壁・がけマップ」で確認

市内には国分寺崖線が走り、段丘も各所にある。こうした地形から擁壁・がけ（高低差2m、傾斜30度以上の区域）が約2300箇所もある。擁壁の崩壊と言えれば昨年9月に杉並区で高さ2<sup>メートル</sup>、長さ8mの擁壁が崩れ家屋1棟が崩壊、向かい側のマンションにも被害が出た。2020年には擁壁落下で女子高生が亡くなっている。「令和6年から調査をしています。その年には250か所を調査し、土砂災害の危険度が高い地域の住宅にはパンフレットやビラを配り、危険度を知らせています」と、都市整備部建築指導課の栗澤恵里子係長が語る。同年に作成した「調布市擁壁・がけマップ」では 細い緑色の線で危険地帯が確認できる。「地震や集中豪雨による土砂災害を未然に防ぐためにも、ぜひ活用してほしい」と栗澤係長。無料でコンサルタント派遣や、工事費助成金制度があるそうだ。このマップは建築指導課や図書館で入手出来る。

楽天サポートを騙る  
合成音声の電話は詐欺

合成音声で「楽天サポート」と騙り、「詳しくは1番を押してください」との詐欺電話が多発している。調布警察署（電話042-488-0110）では「かつてはNTTグループ会社を騙っていたが、最近は楽天の名前を騙っている。有名企業が合成音声で連絡することはない。不審な電話は警察に通報を」と注意を喚起。

## 1日（日）～7日（土）

## 春の火災予防運動

1日から全国一斉に春の火災予防運動が始まりました。調布消防署（電話042-486-0119）では「京王線の主要な駅に消防署員が立ち、チラシを配ります。火災発生時の行動力を高めるために地域の防災訓練には積極的に参加を。初期消火のために住宅用消火器を備えましょう」と呼び掛けています。



# 2026年3月 番組表

＜調布市民放送局の番組を見ることができます＞



◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」で放送中！

## 調布 C A T C H J:COM 111chにて1日2回放送

テレビ番組	月	火	水	木	金	土	日
	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25
	1日 ～ 15日	<p>① 文化財防火デー 深大寺の消防演習 1月26日は昭和30年に制定された「文化財防火デー」です。この日に合わせて、深大寺で消防演習が行われました。調布消防署と深大寺周辺の商店で組織する深大寺自衛消防隊などの一斉放水です。</p> <p>② 調布市民サークル探訪「調布パソコンサークル」 活動の中心は、パソコン操作についてマンツーマンで相談にのる会員制「パソまるクラブ」です。皆で仲良く教え合っている様子をご覧ください。</p> <p>③ リトルギャラリー：やさしい線がつむぐ ゼンタングルのひととき ～黒崎雅美～ ゼンタングルとは、直線や曲線などの単純な模様を繰り返し描くペン画のこと。線の流れをゆったりと眺めながら、日常の中で深呼吸をするようなひと時をお過ごしください。</p>					
16日 ～ 31日	<p>① 「映画のまち調布 シネマフェスティバル 2026」 今年も様々なイベントが開催されました。映画のつくり手に贈られる「第8回映画のまち調布賞」の授賞式では、5部門の内3部門を映画『国宝』のスタッフが受賞し注目されました。番組では、『国宝』で照明賞と編集賞を受賞したお2人のお話をたっぷりご覧いただけます。</p>						

ラジオ	「調布わくわくステーション」(毎週月曜日、21時45分～22時00分)			
	調布 FM: 83.8MHz HPからは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに！			
	月	放送日	内容	ご紹介
3月	2日(再放送) 9日(再放送) 16日(再放送)	調布市都市整備部まちづくり推進課 松永 武康さん 調布市生活文化スポーツ部文化生涯学習課 主任 中垣智恵さん	市民が楽しみにしている調布駅前広場がいよいよ今月完成します。計画から完成までの道のり、完成後の活用や理想図について調布市の担当者に伺いました。 インタビュアー 柴田紀恵子 (この放送は、2026年1月に放送しました。)	
	23日(放送) 30日(放送)	宮本苑生の『詩の世界』 宮本苑生の詩の朗読	宮本苑生詩物語『魔法の練習』を4回に亘ってお届けします。 23日：第一回目「どっちが好き?」「もくもくもくも」他 30日：第二回目「飛んでいけ」「八倍速」他 解説：宮本苑生 朗読：峯田里香子	

インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。👉 調布市民放送局で検索

<http://chofu-catch.or.jp/> (公式 HP)  
 (すべての番組2015年～現在まで)

<http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブサイト)  
 (すべての番組2004年4月～2015年3月)

<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック支局) (2015年～)





【公式HP】    【アーカイブサイト】    【フェイスブック支局】

### 【FC 東京応援記】

2月、東西に分かれた「J1 百年構想リーグ」が開幕。東京は鹿島・浦和とのホーム戦で共に1-1の末、新ルールの特典PK戦で制し、川崎との多摩川クラシコも3-2で勝利した。期待の若手・佐藤龍之介、守備の要・常盤亨太、新戦力の稲村隼翔、山田楓喜ら充実の布陣で3連勝と波に乗ったが、28日の柏戦は好機を逃し0-2で初黒星。結局、PK 勝ち2を含む中位に甘んじている。シュート数、ボール支配率などチームスタッツは上位にいるが得点を取れていない。この敗戦を糧に、若き才能たちがさらに奮起し、3月は圧倒的な勝利を掴み取る姿を期待したい。 東京イチロー

ちょびット
No. 55


### 調布社協 インフォメーション

調布市社会福祉協議会では、65歳以上で頼れる親族がいない方を対象に、定期的な見守り、入院・施設入所時の手続きや支払い等の支援、死後の葬儀・埋葬の支援等を提供する「あんしん未来支援事業」を実施しています。ご利用にあたっては親族関係の確認や資産額等の要件がありますので、まずはお気軽にお問い合わせください。電話：042-481-7766(ちょうふ地域福祉権利擁護センター)